



# ネイチャーセンターだより

2026年1・2月号

## 新・いきもの図鑑



### 【参考文献】

氏原他. 2015. 決定版日本のカモ識別図鑑. 誠文堂新光社.  
中村他. 1995. 原色日本野鳥生態図鑑<水鳥編>. 保育社.

## コオリガモ（カモ科）

カモの仲間で最も北に<sup>ぶんぷ</sup>分布する一種であり、春夏は北極圏で繁殖し、冬に南下し、主に北海道と東北地方北部で越冬します。オスは英名 Long-tailed Duck の名の通り非常に長い尾羽があり、体は白と黒、くちばしにピンク色が入ります。メスは茶色っぽい体に白い顔で、オスメスともに、ほおが黒いのも特徴です。海で生活するカモで、潜水して甲殻類や軟体動物などを食べます。海で見られるカモの仲間にはクロガモやスズガモ、ピロードキンクロなどの黒っぽい種類が多いため、コオリガモのオスの白さは目立ちます。オスは「アッ、アオナ」と尻上がり<sup>しりあがり</sup>に鳴く声も特徴で、その声は日本人には「青菜」にも聞こえるでしょう。根室市内では、春国岱周辺以外に漁港周辺で見られることもあります。

## 春国岱の木道について

2025年2月から修繕工事のため通行止めとなっていたヒバリコース木道が2025年12月に開通しました。通行止め期間中は迂回路の利用にご協力いただき、ありがとうございました。

なお、今回実施した工事はヒバリコースの西側のみであり、中央付近から東側については応急処置のみの状態です。未整備部分は腐朽や段差がありますので、ご利用の際は足元に十分ご注意ください。

春国岱は強い潮風や高潮など、常に厳しい自然環境にさらされる場所であり、ヒバリコースだけでなくキタキツネコース入口の橋も劣化が進んでいます。老朽化の進んでいる場所については、2030年頃の国定公園化を見据え、段階的に修繕・整備を進めていく予定ですが、希少な動植物が生息している環境であるため、スピードを優先した工事はできないのが現状です。そのため、自然環境に配慮しながら順次工事を進めて参りますので、今後も工事等により長期間通行止めにする可能性がございます。ご利用の皆様にはご不便・ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

## NEWS

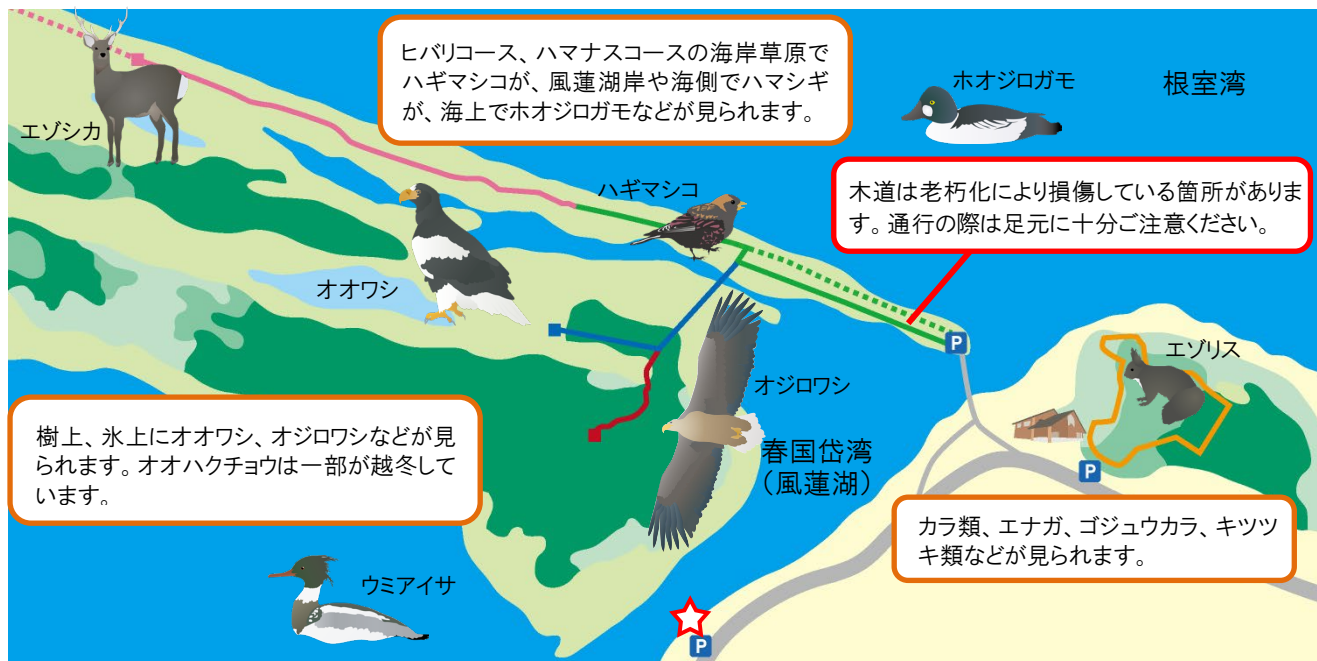


▲開通したヒバリコース木道（上）と、注意が必要な未整備部分（下）



# 見どころMAP

★春国岱は風を防げる場所がほとんどありません。防寒対策をしっかりとしていきましょう。また、木道の除雪は行っていません。足元にご注意ください。



- 緑線 観察路(ヒバリコース 1.2km、約 25 分)
- ピンク線 観察路(ハマナスコース 1.4km、約 30 分)
- 青線 観察路(キタキツネコース 0.8km、約 20 分)
- 赤線 観察路(アカエゾマツコース 0.5km、約 15 分)

- オレンジ線 観察路(小鳥の小道 1.4km、約 30 分)
- 緑点線 作業路(春国岱上は自転車を含む車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

## 1・2月の見どころ予報

- 凡例 ◎ ぜったい見られる(と思う)  
○ ちょっと気をつければ見られる  
+ よーく気をつければ見られる  
・ めったに見られない

オジロワシ	○	上空で飛翔する様子や、風蓮湖の結氷部分、春国岱の立木や海岸で休む様子が観察できます。2月は、風蓮湖内のワシ類の個体数が最も多くなる月で、特に多いのは、中旬頃です。
オオワシ	○	
タンチョウ	・	湿原や風蓮湖が結氷すると釧路地域で越冬するため、春国岱で目にする機会は少ないです。例年、2月下旬ごろになると春国岱に戻ってきます。
オオハクチョウ	○	根室では、多くが南へ渡っていきますが、少数は風蓮湖や根室湾の凍っていない水面の周りで見られます。氷上で丸まって寝ていることもあり、その姿は雪の塊のようにも見えます。
カモ類	○	ホオジロガモやウミアイサが風蓮湖や海上で観察できます。沖では、クロガモの群れやビロードキンクロ、コオリガモが見られることもあります。
カモメ類	○	オオセグロカモメやシロカモメが風蓮湖や海上で見られ、カモメ、ワシカモメが見られることもあります。
春国岱	野鳥	ヒバリコース海側の草原でハギマシコの群れが、風蓮湖や湿原の周辺でハマシギが見られることがあります。2月にはアカエゾマツコースでヒガラのさえずりが聞こえるようになります。
	けもの	エゾシカがよく見られ、まれにキタキツネが見られます。
自然学習林	野鳥	ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)、カケス、シマエナガ、キクイタダキなどが見られます。
	けもの	エゾシカがよく見られ、エゾリスが見られることもあります。積雪時はいろいろな動物の足跡が見られます。



2025年11月8日、風蓮湖・春国岱はラムサール条約湿地登録20周年を迎えました。記念して行われた行事では、春国岱の自然環境の現状について、環境省釧路自然環境事務所や根室市歴史と自然の資料館の学芸員・外山雅大さんにお話をいただきました。今も昔も、春国岱が貴重な動植物の宝庫で根室の大切な宝物であることには変わりません。一方で近年増えすぎたエゾシカにより、植生が大きく変わっている問題があります。中でも、第一浜堤の草原や塩性湿地ではハマナス、ウラギク、シバナ、ハマニンニクといった春国岱を代表する植物が食べられ減少しています。このため、ハマナスやウラギクの咲き誇る景観はもとより、そのような環境を利用し子育てをしていた野鳥も見られなくなっています。

そこで、これらの植物をエゾシカに食べられないよう防除柵を設置して植生の回復に努めています。その一つが「根室ワイズユースの会」が2014年から実施している「ハマナス群落再生プロジェクト」の防除柵です。柵内のハマナスと一部の植物が徐々に回復していることから、今回の記念行事の一環でこれまでに設置した約25メートル四方の5つの防除柵をすべてつなぎ合わせ、一つの柵にすることで保全面積を広げました。また、3年前からは環境省による、ウラギク(環境省レッドリスト:準絶滅危惧種)の簡易保護柵の設置を市民の皆さんの協力を得ながら実施しており、柵の周辺では安定的にウラギクの株が発芽している効果がみられています。

しかし、これらの柵は一時的な保全策です。環境省では増えすぎたエゾシカの低密度化を図るため、昨年からは春国岱でのエゾシカの捕獲も試行しています。春国岱の希少な植生や生態系への影響を極力低減したエゾシカ捕獲手法の確立を目指しており、国設鳥獣保護区としては画期的な取り組みです。

今後も、保護柵の設置イベントなどが予定されていますので、皆さんにもぜひご参加いただき、春国岱の貴重な自然と一緒に守り、残せていけたらと考えています。



▲防除柵の前に説明を受ける周年行事の参加者

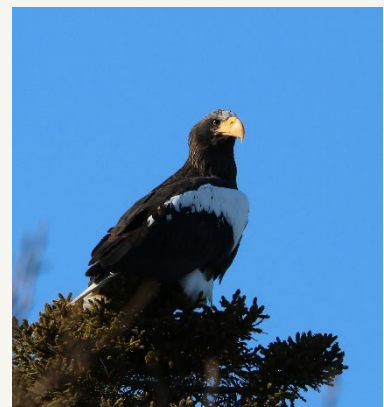


▲ウラギクの簡易保護柵設置活動

## 春国岱クイズ

冬になると北海道にやってくる渡り鳥のオオワシ。根室はこの鳥の越冬地として有名な場所のひとつで、毎年1～2月は、この鳥を見るために日本や世界各地から根室に多くの人々がやってきます。オオワシは世界でもカムチャツカ半島とオホーツク海北部沿岸などの限られた範囲でしか繁殖しておらず、世界に生息している数は約4,600～5,100羽といわれています。このうち約1,400～1,700羽が越冬のために日本に来るのです。

ネイチャーセンターでは毎年、風蓮湖と温根沼に来るオオワシの数を数えているのですが、その数はどのくらいになるでしょうか？



- ① 約100羽      ② 約400羽      ③ 約700羽

## イベント情報

【問合せ】春国岱ネイチャーセンター  
電話：0153-25-3047  
E-mail: nemu\_nc@marimo.or.jp



### ◆ ～2/1 ラムサール条約湿地登録 20 周年写真展

「風蓮湖・春国岱」がラムサール条約湿地の指定を受けてから、20 年が経過したことを記念し、過去と現在の風蓮湖・春国岱の風景や、動植物の写真を展示しています。ネイチャーセンターへお越しの際はぜひお立ち寄りください。

◇会期：～2026 年 2 月 1 日(日) 9:00～16:30 ※休館日：1 月 1～3 日、7 日、13 日、14 日、21 日、28 日  
◇場所：春国岱ネイチャーセンター2 階 ◇主催：根室ワイズユースの会

### ◆ 2/3～3/1 ねむろの野鳥イラストコンテスト作品展

「ねむろの野鳥イラストコンテスト」の応募作品すべてを展示します。

◇会期：2026 年 2 月 3 日(火)～3 月 1 日(日) 9:00～16:30  
※休館日：2 月 4 日、12 日、13 日、18 日、24 日、25 日  
◇場所：春国岱ネイチャーセンター2 階  
◇主催：ねむろバードランドフェスティバル実行委員会

### ◆ 2/15～3/2 環境パネル展「海洋プラスチックを考える（仮題）」

海洋プラスチックごみについての展示と、関連した体験型アート作品の展示を行います。

◇会期：2026 年 2 月 15 日(日)～3 月 2 日(月) 9:00～16:30(最終日は 15 時まで)  
※休館日：2 月 18 日、24 日、25 日  
※終了日が変更になる可能性があります。事前にネイチャーセンターホームページでご確認ください。  
◇場所：春国岱ネイチャーセンター2 階 ◇主催：平賀なお美(根室市地域おこし協力隊)

いずれも  
無料  
・  
入退場自由

募集!

### ボランティア『スunk』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スunk』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スunk』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に 1 回(基本的に第 3 月曜日)の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

- ◆対象：18 歳以上
- ◆年会費(ボランティア保険料含む)：1,000 円

### フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします

クイズのこたえ ③ 飛来数のピークを迎える 2 月上旬から中旬には、国内で越冬している約 40～50%の数のオオワシが風蓮湖・温根沼で記録されていることになります。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地  
TEL：0153-25-3047 FAX：0153-25-8570  
Eメール: nemu\_nc@marimo.or.jp



HP [https://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](https://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

- ◆開館時間：9:00～16:30
- ◆休館日：1 月 1～3・7・13・14・21・28 日  
2 月 4・12・13・18・24・25 日

- ◆団体でご利用の方へ (事前予約制・2 週間前までにご連絡ください)  
自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。

SNS でも最新の自然情報を発信しています!



ラムサール条約湿地  
風蓮湖・春国岱

2005 年 11 月 登録